

写真や動画の投稿に注意しましょう

埼玉県教育委員会

スマートフォンの普及と、SNSなどのサービスの発展により、自分が撮影した写真や動画をインターネットに投稿する人が増えました。みなさんの中にも、日常的に写真や動画を投稿している人がいるのではないのでしょうか。

写真や動画の投稿が身近なものになった一方で、問題のある投稿をしている人たちも増えています。今回は、問題のある写真や動画の投稿についてお話しします。

問題のある写真や動画の投稿とは

インターネットに投稿された写真や動画で、問題のあるものとはどのようなものなのでしょうか。目にするのが、他人が写り込んだものです。外の風景やイベントなどの様子を撮影した際に、顔がはっきりとわかる状態で他人が写り込んでいるケースがあります。その人物の許可なく撮影し、それをインターネットに投稿してはいけません。対象の人物がその投稿を目にした場合、トラブルに発展してしまう可能性もあります。

また、他に見られるのが、撮影禁止場所で撮影したものです。例えば、上映中の映画館や本番中のコンサート会場の様子を撮影し、その写真や動画を投稿しているものを目にします。こうした投稿をすると、閲覧者から非難のコメントが集まる可能性があります。また、犯罪行為となりうる場合があります。

海岸で記念撮影した際、背後に第三者が写り込んでしまったもの



撮影禁止のコンサート会場の様子を撮影したもの



写真や動画を撮影・投稿する際の注意点

こうした投稿を行わないようにするためには、まず撮影する前のチェックが重要です。その場所や建物、イベントなどが撮影を許可しているかどうか、他人の顔が写り込まないか、などを事前に必ず確認してから撮影するようにしましょう。

万が一、撮影した写真や動画に他人の情報が写り込んでしまった場合は、その写真や動画の投稿を行わない、モザイクなどで個人が特定されないよう処理をしてからインターネットに投稿するなどの配慮が必要です。

写真や動画を撮影・投稿する前に、「これは撮影して大丈夫か」「インターネットに投稿しても問題にならないか」考える習慣をつけましょう。